

下の封筒を切り取ってご利用ください。(切手を貼らずに、そのままポストに投函してください)

のりしろ(できればセロハンテープで貼りつけてください)

キリリ
ノリ

実際に実行しているもの、実行できそうなものを子ども・大人・地域のそれぞれの項目の中から3つずつ選んで○を付けてください。

1 子どもに関する項目

1. 友達の気持ちを大切にしましょう。
2. あいさつをして、仲良くしましょう。
3. 動物や植物を育てて、命の大切さを知りましょう。
4. 何でも話せる友達をつくりましょう。
5. 両親からいただいた命を大切にしましょう。
6. いじめをしない人になりましょう。
7. いじめられたら、「いや!」と大きな声ではっきりと言いましょ。
8. 先生や親や友達に勇気をもって相談しましょう。
9. いじめを見たら、勇気を出して「やめろよ!」と言いましょ。
10. ながる、おどす、お金をとることは、犯罪ですからやめましょ。

2 大人に関する項目

1. 子どもの話を聴く時間を意識してつくりましょ。
2. 食事の時には、テレビを消し、家族で仲良く会話を楽しましょ。
3. 子どもと遊ぶ機会をもっと増やましょ。
4. 家族で対話をし、子どものどんな話にも耳を傾けましょ。
5. 子どもに家事の分担をさせましょ。
6. 子どもの友達の名前を覚え、友達のことも話題にましょ。
7. 子どもが登校するとき、帰ってきたときの表情や服装にも気を配りましょ。
8. 親として子どもとともに、いじめについて真剣に話し合いましょ。
9. どんな理由があっても、「いじめ」は人間として決して許されないことであるとしっかり教えましょ。
10. いじめには、親も子ども責任があることを自覚ましょ。

3 地域の人々に関する項目

1. 近所の子どもに名前を呼びながら「おはよう、こんにちは、気をつけるのよなど、普段から気軽に声をかけましょ。
2. 近所の子どもをできるだけ覚えましょ。
3. 子供会の行事に誘い合って子どもとともに参加ましょ。
4. 地域の行事に子どもを参加させましょ。
5. 地域の催し物や行事を他人まかせにしないようにましょ。
6. 地域の子どもたちが協力して行う行事を計画ましょ。
7. 地域の子どもと遊びましょ。
8. 人の子も我が子と同じ愛情で言葉を掛けましょ。
9. 悪いことをしているのを見かけたら「だめよ」と注意ましょ。
10. 地域ぐるみでいじめ防止にこころがけましょ。

※ご意見がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました

のりしろ(できればセロハンテープで貼りつけてください)

〈特集〉いじめ提言アンケートを実施



子どもたちと地域との交流、世代間の交流を深めます(ふれあい給食)

重要点1 学校と児童生徒の関わり

昨今、大きな社会問題として取り上げられている「いじめ」は、21世紀を担う子どもたちの健全な成長を妨げるものです。市ではこの身近で重大な問題に対し、行政と学校、家庭、地域が一体となり、現状を直視した中で解決に取り組んでいます。そして取り組みの一つとして昨年5月に「いじめ根絶対応委員会」を発足し、16回にわたる会議の中でさまざまな問題を話し合い、解決の重要点をつぎの5つにまとめました。

そして今回、この重要点に基づき、学校、家庭、地域を対象とした提言を作成し、今後のいじめ問題の解決に向けて活用していくことになりました。ぜひ皆さんご自身でいじめ問題について考え、ご家族で話し合い、アンケートへの協力をお願いいたします。

重要点2 子ども同士の人間関係のあり方

々が早く気づき、相談にのることが重要です。そして、そのための相談システムをさらに充実することや、これまでの効果的な取り組みを積極的に広めていくことも大切です。また、児童生徒との関わりをより円滑にするため、「くんさん」「つけの励行など具体的な日頃の対応も大きな役割を持っています。

人間関係の希薄化は子ども社会にも及んでいます。仲間意識の低下、異質なものを排除しようとする態度が

重要点3 家庭での子どもへの接し方

見られ、誤った仲間意識から不本意なことをやらされたという事例もあります。自己中心のわがままな態度を直し、自分とは違うものを受け入れて、ともに生きようとする「心」を育てることが、いじめをなくす最大のポイントになります。

重要点4 地域での大人のあり方

家庭教育、しつけについても数多くの事例が見られます。放任、過干渉的な接し方や、存在を認めてもらえないような家庭教育のあり方など、家庭における子どもへの接し方も大きな課題の一つとしてあげられます。



狭山市からいじめをなくすため積極的に活動を続けています(いじめ根絶対応委員会)

重要点5 子どもを取り巻く社会のあり方

育力の低下も顕著です。近所の子どもへの接し方にもさまざまな問題点が見受けられます。

提言の決定について

つぎのページのアンケートに答えていただき、行政と学校、市民が一緒に考えながら、提言を決定したいと思います。アンケートの項目は分かりやすい標語の形をとります。ご家族で話し合い、実行しているもの、できそうなものを、それぞれの部門別に3つずつ選んでください。皆さんからお寄せいただいたアンケートの結果を考察したのちに、提言としてまとめる予定です。

問い合わせ

教育センターへ ☎56-2299